

令和2年度 千歳ブロックの研究

研究主題

心豊かに自分らしく生きる子どもの育成をめざして
～互いの多様性を認め合い、誰もが過ごしやすい環境作りへの取り組み～

主題設定の理由

学校には様々な児童生徒が、多様な価値観や個性をもって生活しており、価値観や個性の違いを認め、支援していくことが大切である。特に、性のあり方については、目に見えず表面化しにくいものであり、養護教諭や教職員の対応で不用意に子ども達を傷つけていないか不安がある。そこで、私たちが性の多様性のあり方について理解を深めることで、子ども達一人ひとりに応じた対応が出来ると考えた。また、違和感や悩みを抱えている子どもがいるかもしれないという視点にたち、学校内の環境を改善することで、すべての子ども達が過ごしやすい場所にしていきたい。さらに、子ども達にも多様な性のあり方を伝えていくことで、理解の幅が広がっていくと考えた。

「なりたい自分になれる」という共生社会の視点にたち、自分らしく生きていく子どもを育みたいと考え、この主題を設定した。

研究の仮説

1. 多様な性のあり方を知り、そのどれもが認められるものであることを理解することで、互いの個性を認め合える子どもを育成することができる。
2. 子ども達が自覚する不安や困り感を理解し、肯定的な支援をすることで自分らしく生きていく子どもを育成することができる。
3. 教職員が多角的視点を持ち理解を深めることにより、心豊かに生きていく子どもを育成することができる。

研究の内容

1. 教職員の意識や、問題を把握する。
2. 性の多様性に関わり、共生社会の視点に立ち養護教諭としてどのように対応していくか、検討する。
3. 教職員に向け、性の多様性のあり方について資料を作成し、発信するとともに支援・配慮の方法について検討する。

研究の方法

- ・教職員へ性の多様性に関するアンケートを取り、意識調査を行う。(研究の最初、資料配布後の2回予定)
- ・学習会を行う。
学習したことを受けて意見交流・事例交流した後、学習してみでの感想等をグループ研で交流し、校内体制を見直してみる。校内での事例があればグループ研の中で交流する。
- ・理論研または実技研を行う。
- ・教職員向けの資料を作成し、各校で配布する。